

# 本多将大

Masahiro Honda

Marketing Science / Behaviormetrics / Economics

株式会社エコノミクスデザイン ビジネスデベロップメント ディレクター

慶應義塾大学大学院 経済学研究科 博士課程

慶應義塾大学 産業研究所 共同研究員 / 理化学研究所 AIPセンター 研究メンバー

出身地: 東京都足立区

Website: <https://mhsamurai.github.io/>



研究関心: マーケティング・サイエンス、行動計量学、消費者行動、Shrinkflation、クラウドファンディング、構造方程式モデリング、測定誤差、欠測、モデリング、シングルソースデータ。

## 学歴

- 2017.03 私立早稲田高等学校 卒業
- 2017.04 慶應義塾大学 経済学部 入学
- 2019.09-2020.08 Exchange Student, RWTH Aachen University, Germany
- 2021.03 慶應義塾大学 経済学部 卒業
- 2023.04 慶應義塾大学大学院 経済学研究科 修士課程 入学
- 2025.03 慶應義塾大学大学院 経済学研究科 修士課程 修了
- 2025.04- 慶應義塾大学大学院 経済学研究科 博士課程

## 職歴・研究歴

- 2021.04-2022.05 Indeed Japan株式会社 Account Executive
- 2023.04- 慶應義塾大学経済学研究科 星野研究室 臨時職員
- 2024.04- 理化学研究所 AIPセンター 経済経営情報融合分析チーム
- 2024.10- 慶應義塾大学 TA (計量経済学概論・産業組織)
- 2024.10-2026.03 株式会社エコノミクスデザイン ビジネスデベロップメント アソシエイト
- 2025.04- 慶應義塾大学 産業研究所 共同研究員 / 経済学部奨励研究員
- 2026.03- 株式会社エコノミクスデザイン ビジネスデベロップメント ディレクター
- 2026.04-2028.03 日本学術振興会 特別研究員 DC2

## 研究業績 (論文)

1. 本多将大、星野崇宏 (2024). ふるさと納税およびクラウドファンディング型ふるさと納税の利用動機——クラウドファンディング研究の視点からの実寄付者データを用いた分析——. 行動計量学, 51(2), 137-150. <https://doi.org/10.2333/jbhmk.51.137>

2. 本多将大 (2025). 「小売市場におけるシュリンクフレーションのシステムティックレビュー」, 慶應義塾大学経済研究所ディスカッションペーパー.
3. 本多将大 (2025). 「シングルソースデータにおける調査・行動データの統合分析モデル—Multiple Overimputation による欠測・測定誤差の補正—」, マーケティング・サイエンス, 33(1), 99-120. <https://doi.org/10.11295/marketing-science.202508>

## 研究業績 (学会発表)

---

1. 本多将大、星野崇宏: 「ふるさと納税およびクラウドファンディング型ふるさと納税の利用動機 クラウドファンディング研究の視点からの実寄付者データを用いた分析」 日本行動計量学会第52回大会, 2024.9.13 (大阪)
2. 本多将大: 「小売業界におけるステルス値下げ(Shrinkflation)戦略の国際文献レビュー —消費者心理、需要推定の観点から—」 商業学会第14回全国研究報告会, 2024.12.15 (愛知)
3. Masahiro Honda, Takahiro Hoshino: 「Understanding the Motivations of Donors: Intrinsic and Extrinsic Factors in Reward-Based and Hybrid Crowdfunding in Japan」 IAFOR The 15th Asian Conference on Psychology & the Behavioral Sciences, 2025.3.24-29 (Tokyo) (査読済み)
4. 白石遼太郎、本多将大: 「プライベートブランドの価格戦略が市場構造に与える影響—消費税増税を考慮した日本市場の実証研究」 日本マーケティング・サイエンス学会第116回研究大会, 2024.11.30 (東京)
5. 本多将大、高柳剛弘、星野崇宏: 「アンケート調査の効率化のための大規模言語モデル活用に関する検証」 2025年度 人工知能学会全国大会 (第39回) , 2025.5 (大阪)
6. 本多将大: 「アンケート調査と購買ログデータの統合分析モデルとデータ融合、及びPB購買行動分析への応用」 日本マーケティング・サイエンス学会第117回研究大会, 2025.5 (長野)
7. 西尾和生、本多将大、星野崇宏: 「顧客階層プログラムの収益性に関する消費者異質性の評価」 2025年度 商業学会第75回大会, 2024.6 (大阪)
8. Kazuki Nishio, Masahiro Honda, Takahiro Hoshino: Thresholds or Constant Rewards? Examining Customer Responses to Loyalty Program Design Changes. ISMS Marketing Science Conference, 2025.6 (US, Washington)
9. 豊福一輝、本多将大、星野崇宏: 「ブランド階層と類似性を統合した競争構造の推定モデル—店舗レベルデータに基づくアプローチ—」 日本行動計量学会第53回大会, 2025.8 (神奈川)
10. 小川真優、梶谷彩乃、本多将大: 「大規模RCT によるClumpiness 指標のクーポン配布における有効性の実証分析」 日本マーケティング・サイエンス学会第118回研究大会, 2025.11 (東京)
11. 魚住宗一郎、本多将大: 「大規模言語モデルを用いたバスケット内購買順序データによるクラスタリング」 日本マーケティング・サイエンス学会第118回研究大会, 2025.11 (東京)
12. 野口淳史、本多将大: 「混合バンドリングにおける価格変動の相互作用: Multipack と単品の参照点形成と購買行動」 日本マーケティング・サイエンス学会第118回研究大会, 2025.11 (東京)
13. 本多将大、星野崇宏、Taisuke Otu: 「欠測IVと潜在変数モデリングによる非無作為欠測の識別」 2026年度 統計関連学会連合大会.

## 受賞・採択・所属学会

---

- JST 次世代研究者挑戦的研究プログラム JPMJSP2123 採択.
- 日本学術振興会 特別研究員 DC2 採択, 2026年4月-2028年3月.
- KAKENHI Project: Shrinkflation を対象とした消費者行動分析.

- Academic societies: JIMS, 日本行動計量学会, 商業学会, 人工知能学会.